

# アンケート調査 ご協力をお願い

## 【浜田市の再犯防止に関する調査票】

平素は市政全般につきまして、ご協力、ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

全国的にも、また島根県内においても、刑法犯検挙者数は減少傾向ですが、検挙者数に占める再犯者の割合は上昇傾向にあり、国や地方公共団体をはじめ、社会全体で再犯防止等の施策を進めていく必要があります。犯罪をした者等の社会復帰に対する理解や支援の輪を広げ、背景にある様々な生活課題や生きづらさに寄り添いながら、その立ち直りを見守り、支え、孤立しない環境づくりを推進するため、浜田市では「浜田市再犯防止推進計画」を策定することといたしました。

このアンケートは、市民の皆さまのご意見等をお聞きし、計画づくりの参考にさせていただくため、島根県立大学と島根あさひ社会復帰促進センターとの三者連携協定に基づき、実施するものです。

このアンケートには名前を書く必要はなく、結果の集計はすべて数字で統計的に処理されますので、回答していただいた皆さまにご迷惑をおかけすることはありません。

大変お忙しいなか誠に恐れ入りますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和3年9月

浜田市長 久保田 章市

### ～ご記入にあたってのお願い～

- 回答は、あてはまる番号を選び、その番号に「○」をしてください。
- 答えがどれにもあてはまらない場合は、もっとも近いものを選んでください。
- 回答のなかで、「その他」に「○」をつけた場合は、( )のなかに具体的な内容をご記入ください。
- アンケート回答後は、同封の返信用封筒をご利用のうえ、以下の日までにご返送していただきますようお願いいたします。

**令和3年9月27日(月)まで**

※このアンケートに関するお問い合わせについては、次のところまでお願いいたします。  
浜田市地域福祉課 地域福祉係 電話(直通)25-9300

※アンケートの返送先(同封の返信用封筒宛名等)  
〒697-0016 島根県浜田市野原町 2433-2  
島根県立大学 総合政策学部 豊田研究室 宛



Q7 犯罪をした人が、浜田市に住むことや就職されることに抵抗はありますか。

1. はい
2. いいえ

Q8 犯罪をした人が社会復帰するために地域住民の協力は必要だと思いますか。

1. はい
2. いいえ

Q9 あなたは犯罪をした人の立ち直りに協力したいと思いますか。この中から1つだけお答えください。

1. 思う(→Q10へ)
2. どちらかといえば思う(→Q10へ)
3. 思わない(→Q11へ)
4. どちらかといえば思わない(→Q11へ)

Q10 Q9で「1. 思う」「2. どちらかといえば思う」を選んだ方へ伺います。

あなたは犯罪をした人が立ち直るためにどのような協力をしたいと思いますか。あなたの考えに当てはまるものを全て選んでください。

1. 犯罪をした人に直接会って継続的に助言や援助をする
2. 協力雇用主(犯罪前歴を承知の上で雇用に協力する事業主)として、犯罪をした人を雇用する
3. 更生保護施設等にお金や品物などを寄付する  
※更生保護施設については、「Q12の5」をご参照ください
4. 再犯防止に関するボランティア活動に参加する
5. 広報・啓発活動に参加する
6. インターネットを活用して広報・啓発活動の情報を発信する
7. その他 ( \_\_\_\_\_ )

Q11 Q9で「3. 思わない」「4. どちらかといえば思わない」を選んだ方へ伺います。

あなたが犯罪をした人の立ち直りに協力したいと思わない理由は何ですか。あなたの考えに当てはまるものを全て選んでください。

1. 自分や家族の身に何か起きないか不安だから
2. 犯罪をした人と、関わりを持ちたくないから
3. 犯罪をした人と、どのように接すればよいか分からないから
4. 自分自身にメリットがないから
5. 具体的なイメージがわからないから
6. 時間的余裕がないから

7. 興味がないから
8. 犯罪をした人への支援などは国や地方公共団体が行うべきだから
9. 犯罪をした人に支援をするべきではないから
10. その他 ( \_\_\_\_\_ )

### 3 再犯防止に協力する民間協力者について

Q12 あなたは再犯防止に協力する民間協力者として次のような人がいることを知っていますか。知っているものを全て選んでください。

1. 保護司	犯罪や非行をした人の立ち直りを地域で支える民間のボランティア
2. 更生保護女性会	地域社会の犯罪・非行の未然防止のための啓発活動を行うとともに、青少年の健全な育成を助け、犯罪をした者や非行のある少年の改善更生に協力することを目的とするボランティア団体。
3. 協力雇用主	犯罪・非行の前歴のために定職に就くことが容易ではない刑務所出所者等を、その事情を理解した上で雇用し、改善更生に協力する民間の事業主。
4. BBS会	様々な問題を抱える少年と、兄や姉のような身近な存在として接しながら、少年が自分自身で問題を解決したり、健全に成長していくのを支援するとともに、地域に根ざした非行防止活動を行う青年ボランティア団体。
5. 更生保護施設	矯正施設から釈放された人や保護観察中の人で、身寄りがいないことや現在住んでいるところでは更生が妨げられるおそれがある等の理由で、直ちに自立することが困難な人に対し、一定期間宿泊場所や食事を提供する民間の施設。
6. 教誨師	矯正施設の被収容者に、希望に応じて宗教教誨を行う民間の篤志家である宗教家のこと。
7. 篤志面接委員	矯正施設の被収容者に対し、民間の篤志家による専門的知識や経験に基づいた助言・指導を行う。
8. 少年補導員	地域における街頭補導活動、有害環境浄化活動など、幅広い非行防止活動に従事する少年警察ボランティア(島根県では「少年補導委員」と称しています。)
9. 少年指導委員	少年を有害な風俗環境の影響から守るための少年補導活動や風俗営業者等への助言活動を行う少年警察ボランティア。
10. 少年警察協助力員	暴走族などの非行集団に所属する少年を集団から離脱させ、非行を防止するための指導相談等に従事する少年警察ボランティア
11. いずれも知らない	

Q13 あなたは民間協力者を増やす必要があると思いますか。

1. はい(→Q14 へ)
2. いいえ(→Q15 へ)

Q14 Q13 で「1. はい」を選んだ方に伺います。

あなたは民間協力者を増やすために市は何をするべきだと思いますか。あなたの考えに当てはまるものを全て選んでください。

1. 民間協力者の活動を紹介する広報を充実する

2. 民間協力者の団体と協力し、1日体験など誰もが気軽に参加できるような機会を増やす
3. 民間協力者に対する表彰の機会を増やす
4. 民間協力者に対する研修を充実する
5. 民間協力者に対して、活動する場所の提供や財政的な支援を充実する
6. その他 ( \_\_\_\_\_ )

#### 4 島根あさひ社会復帰促進センターについて

Q15 浜田市に刑務所があることを知っていますか。

1. はい
2. いいえ

Q16 施設や受刑者の理解を深めるため、施設を見学したいと思いませんか。

1. はい
2. いいえ

Q17 どのような受刑者が収容されているか知っていますか。

1. はい
2. いいえ

Q18 映画『PRISON CIRCLE(プリズン・サークル)』を見たことがありますか。

※初めて日本の刑務所にカメラを入れたドキュメンタリー映画で、官民協働の刑務所である島根あさひ社会復帰促進センターが舞台。

1. はい(→Q19へ)
2. いいえ(→Q20へ)

Q19 Q18で「1. はい」を選んだ方に伺います。

再犯防止を推進するため、受刑者の理解などを深めるうえで、この映画をみることは効果があると思いませんか。

1. はい
2. いいえ

#### 5 浜田市の再犯防止推進について

Q20 あなたは、再犯防止のためには、具体的にどのようなことが必要だと思いますか。あなたの考えに当てはまるものを全て選んでください。

1. 刑事司法関係機関(刑務所、少年院、保護観察所等)による一人ひとりの問題性に応じた、きめ細かな指導や支援を充実する
2. 仕事と住居を確保して安定した生活基盤を築かせる

3. 犯罪をした高齢者などに対して、福祉制度の利用を促進する
4. 犯罪を地域の問題として捉え、地域ぐるみで再犯防止に向けた支援をする
5. その他（ \_\_\_\_\_ ）

Q21 再犯防止に関して広く市民の理解や関心を深めるために、市はどのようなことをするべきだと思いますか。あなたの考えに当てはまるものを全て選んでください。

1. 刑務所等の見学を推進する
2. 誰もが参加できる講習会などのシンポジウムを充実する
3. テレビや新聞などでの広報を充実する
4. ホームページやSNSなどのインターネットでの情報発信を充実する
5. パンフレットやポスターを増やす
6. 学校の授業で取り上げるよう働きかける
7. 再犯防止に協力する民間協力者に対する表彰の機会を増やす
8. 地域や社会教育の場で話し合う機会をもつよう働きかける
9. 職場の研修などで取り上げるよう働きかける
10. その他（ \_\_\_\_\_ ）

Q22 再犯防止を推進していくために、市はどのようなことをすればよいと思いますか。あなたの考えに当てはまるものを全て選んでください。

1. 再犯防止のための計画を策定する
2. 犯罪をした人を市や公的機関で雇用する
3. 犯罪をした人に対する支援ネットワークを作る（ネットワークは病院、学校、福祉施設などの機関や民間団体で構成）
4. 住民に対して、再犯防止について広報・啓発活動をする
5. 再犯防止に協力する民間協力者に対して、活動する場所の提供や財政的な支援をする
6. その他（ \_\_\_\_\_ ）

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。